

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
①	1 2 1 点	(1)	ア	知識 理解			○神社の地図記号を正しくかいている。 	3
②			イ	知識 理解			○市役所の地図記号を正しくかいている。 	3
③			ウ	知識 理解			○工場の地図記号を正しくかいている。 	3
④		(2)		技能			○けんごさんのことばを手がかりとして地図に記載されている施設名を正しく答えている。 寺 ※「お寺」「寺院」でも可 卍 は不可	5
⑤	2 1 7 点	(3)		思考 判断 表現	○自分の住んでいる市町村のおおまかな土地の使われ方や施設のみを書いている。(転入生については、以前住んでいた市町村についての記述でもよい。) ・〇〇町には、田がたくさんあります。 ・〇〇市には、コンピュータの部品を作る工場があります。 ・〇〇町では、スイカがつくられ、全国でも有名です。	4	○自分の住んでいる市町村のおおまかな土地の使われ方や施設について、場所や方位を入れて書いている。(転入生については、以前住んでいた市町村についての記述でもよい。) ・〇〇市の駅の近くには、お店や家がたくさん集まっています。 ・〇〇市の西には、△△海が広がり、夏には多くの海水浴客でにぎわいます。 ・〇〇町の東部では、スイカがつくられ、全国でも有名です。	7
⑥		(1)		技能			○文章とグラフから熊本県の水道水の水源の割合をとらえている。 ・地下水	3
⑦		(2)		思考 判断 表現	○森林のはたらきである水保全、水の浄化、水の調節のいずれかを書いているが、森林に降った雨のゆくえと関連付けていない。 ・水をたくわえる。 ・水をきれいにする。 ・水を調節する。	4	○森林に降った雨のゆくえと関連付けて、森林のはたらきである水保全、水の浄化、水の調節のいずれかを書いている。 ・森林に降った雨水を地下水としてたくわえる。 ・森林に降った雨水をたくわえ、きれいにして川へ流す。 ・森林に降った雨水の流れ出す量を調節する。	7
⑧	2 1 7 点	(3)		関心 意欲 態度	○水を大切に使うために、自分が取り組んでいることや取り組んでいきたいことを書いているが、具体的でない。 ・水を出しっぱなしにしない。 ・水をためて使う。	4	○水を大切に使うために、自分が取り組んでいることや取り組んでいきたいことを考えて具体的に書いている。 ・歯を磨くときは、水道の水を出したままにせず、コップ1杯の水で行う。 ・雨水をためて、花壇の水やりをする。 ・掃除でぞうきんを洗うときは、バケツに入れた水を使い、使う水の量を減らす。	7
【授業改善の視点】水資源の確保と自分たちの生活とのかかわりについて、飲料水を供給する仕事に携わっている人に聞き取り調査をしたり、浄水場などの施設を見学したりした後に、学校で取り組んでいる学校版環境 I S O の取組について話し合ったり、資源の有効活用等について意見を出し合ったりするような言語活動を効果的に取り入れる。								

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
⑨	3 5 点	(1)	ア	技能			・ 7	3
⑩			イ				・ していぶくろ	3
⑪			ウ				・ リサイクルセンター	3
⑫			エ				・ 工場	3
⑬		(2)		思考 判断 表現	○ごみの分別について書いているが、 【し料 3】からの気付きではない。 ・ ごみ収集のとき、集めやすいように するため。 ・ ごみ収集のとき、けがをしないよう にするため。 ・ もえるごみを減らすため。 ・ ごみ処理の費用を減らすため。	4	○【し料 3】から、処理の仕方により運ばれる場所が異 なることについて書いている。 ・ ごみの種類によって、処理の仕方がちがひ、運ばれる 場所が決まっているため。	7
⑭	(3)	ア	技能			・ ふえて	3	
⑮		イ				・ へって	3	
⑯		ウ				・ リサイクル	3	
					【授業改善の視点】廃棄物の処理や活用に関する様子について、複数の資料やグラフから必要な情報を読み 取り、関連付けて説明したり、自分の考えをまとめたりする言語活動を積極的に取り入れる。			
⑰		(4)		関心 意欲 態度	○自分が取り組んでいることや取り組 んでみたいことを書いているが、具 体的でない。 ・ ごみを出さないようにする。 ・ ものを大切にする。 ・ ごみを減らす。  ※ 3 つの「R」とその取り組みを両方 書いていること。	4	○ 3 つの「R」から 1 つ選び、自分が取り組んでいるこ とや取り組んでみたいことについて適切に書いている。 ・ リデュース（ごみをなるべく出さないようにすること） 例：給食を残さず食べる。 ノートやえんぴつを最後まで使う。 ・ リユース（ものを捨てずにくり返し使うこと） 例：使った紙の裏紙を使う。 使わないものは、フリーマーケットに出す。 ・ リサイクル（使い終わったものを資源に戻して再利用 すること） 例：ごみを分別して決められた日に出す。 生ごみを堆肥にする。	7
⑱	2 7 点	(1)		知識 理解			・ 1 1 9	3
⑲		(2)		思考 判断 表現			○「施設名」とそれぞれの役割に合った「連絡の内容」 を適切に書いている。（完答） ・ ガス会社：（安全のため）ガスを止めてください。 ・ 電力会社：（安全のため）電気を止めてください。 ・ 水道局：たくさん水を使えるようにしてください。 ・ けいさつしょ：車や人の整理をしてください。	5
⑳		(3)		思考 判断 表現	○火事の連絡を 1 カ所にだけすればよ いということは書いているが、各機 関（施設）が連携して素早い対応を していることにふれていない。 ・ 火事の連絡をいろいろなところにし ないですむ。	4	○火事の連絡を 1 カ所にだけすればよいことと各機関（施 設）が連携して素早い対応をしていることの両方を書 いている。 ・ 電話を 1 回するだけで、火事が起きたときに連絡をし なければならないところにすべて連絡が行き、協力し て素早い消火活動や救助活動を行うことができる。	7
㉑		(4)		知識 理解	○地図の中から火事をふせぐ「しせつ やもの」を 1 つ選び、名前を正しく 書いているが、役割や用途を正しく 書いていない。（無答も含む） ・ 消火き ・ 消火せん ・ 消ぼうだんのそう庫	3	○火事をふせぐ「しせつやもの」の役割や用途を正しく 書いている。（完答） ・ 消火き：火を消す道具（もの）。 ・ 消火せん：水を出すためにホースをつなぐ施設。 ・ 消ぼうだんのそう庫：消防団用のポンプ車などを置く 場所。	5
㉒		(5)		思考 判断 表現	○点検について書いているが、目的が 具体的でない。 ・ こわれていないかを調べるため。	4	○火事が起きたときに備え、すぐ消火活動や救助活動が できるようにしていることを具体的に書いている。 ・ 火事が起きたとき、消火器がきちんと使えるかを点検 している。 ・ 火事が起きたとき、消火栓からきちんと水が出るかを 点検している。 ・ 火事が起きたとき、地域の人が安全に避難できるかを 点検している。	7